

高等学校における福祉除雪地域協力員の活動 に対する聞き取り結果



○聞き取り先：市内高校7校（道立2校、市立2校、私立3校）

○回答内容

☞ 学校として管理することが難しい…。

- ・ 部活動で参加する場合は、安全管理上、顧問教員の引率が原則。
- ・ 部活動以外で学校が休みの日に生徒を集めるのは難しく、活動日が特定されていないとなると更に難しい。
- ・ 当然だが平日は何より授業が優先！
- ・ 活動費が発生すると責任が発生するが、学校として責任を負うことは難しく、生徒もまだ若輩であるが故に責任を負わすのは忍びない。

との結果…。但し、

☞ 生徒個人の活動は可能

☞ 学校としても、放課後やあらかじめ予定された活動日に参加することは可能

- ・ **部活動等で活動いただくことは難しいため、現時点では、生徒個人が「協力員」として活動することがマッチ。**
- ・ 今後の方向性としては、協力員確保を目的とした若年層向けの広報活動の強化を軸にしつつ、「スポット協力員」への誘導も強化。
- ・ 部活動など学校としての活動については、福祉除雪以外の除雪ボランティアなどに積極的に参加していただき、その中で福祉除雪のPRを行うことで、未来の「協力員」として醸成